

志

卷

改

日能出ちまきし雲雀うかきくま石水
狼蕉りあさし水錫鼓ききくくく
陽光やの元しきくくくくく
北山ハ見しぬと定しうめ花茂
形雪にむも礼あし毛喜水理玉

立

東都

夕花壽如くくくくくくく

雛子あくや薪乃能れくくくくく山
多ふく結ふく糸紫や糸柳くくく水
水一乃月くむく元く水くくくくく

文にこそせよ

